

「医療介護分野向け SNSリスク対策」 研修会

※参加費無料

主催：株式会社富士通マーケティング 協賛：マカフィー株式会社

Twitter、Facebookに代表されるSNSは、爆発的な利用者の増加を続けています。

便利なツールであると同時に、不適切・不謹慎な記事や写真を投稿し全国から非難を受ける「炎上」も増え続ける一方です。

特に**医療分野における「炎上」**は一般分野とは一線を画し、**医療機関側がとてつもないダメージを負うケース**がほとんどです。

医療従事者は、SNSに関わらず職務で知りえた情報について重い守秘義務を背負っており、高い倫理観が求められています。

本研修会では、職員の不適切な投稿から、**医療機関、施設を守るための対策について、解説**します。

ご多用の折りとは存じますが、万障お繰り合わせのうえ、ぜひご来場賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

株式会社富士通マーケティング

開催日時 2月15日（木）15:00～17:00（受付開始14:30～）
会場 株式会社富士通マーケティング 北海道支社 会議室4～6
〒060-0002
札幌市中央区北二条西4-1 札幌三井JPビルディング15F

第1部

15:05～16:05

**SNS炎上から組織を守るために、必要な統制とは？
～今、注目のSNS専門教育のポイントを解説～**

講師：(株)富士通マーケティング

現在、便利なコミュニケーションツールとして世界中で利用されているSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）。一方で、職員によるSNSへの不適切な投稿が、「炎上事件」、「個人情報、営業秘密の漏えい問題」にまで発展し、組織が巻き込まれるケースが多発しています。それは、医療機関・介護施設の職員も例外ではありません。一度、拡散された不適切な投稿は取り返しがつかず、築き上げた社会的信用を簡単に失墜させる影響力を持っています。組織を守るために必要な統制とは何か。SNSリスク対策のポイントを解説します。

<休憩>

第2部

16:15～17:00

**最新の、SNSの対策方法とは？
～ただ単に禁止する対策から利用を前提とした対策へ～**

講師：マカフィー(株) パートナー統括営業部 高野 清 氏

ただ単にSNSを禁止するだけでは、不十分と言わざるを得ません。禁止しても便利なツールである以上、影で利用をする方は少なからずいらっしゃいます。いわゆる「シャドーIT」と言われるリスクを抱えることとなります。最新のSNS対策は、「シャドーIT」を見越して、「ただ単に禁止する対策」ではなく、「利用を前提とした対策」へシフトしています。第2部ではSNSの利用を前提とした、無駄の無い、実効性の高いセキュリティ対策手法を解説いたします。

また、現在猛威を振っているランサムウェアや、今後利用が増えるクラウド利用の対策についても合わせて解説いたします。

参加申込書

FUJITSU

富士通マーケティング

FAX 011-221-8509



～WEBでのお申込みの場合はこちらから↓～



<http://www.fjm.fujitsu.com/events/180215/>

タイトル

「医療介護分野向け SNSリスク対策」セミナー

2018年2月15日（木） 受付14:30～

ご芳名

事業所名
ご所属

ご連絡先

メール
アドレス

(株)富士通マーケティング ヘルスケアセミナー担当者行き

※大変恐縮ではございますが会場スペースの都合により定員（20名）となり次第締め切りとさせて頂きますのでお早めにお申込みください。ご協力のほどお願い申し上げます。

会場ご案内

2018年2月15日（木）
15:00～17:00 [受付14:30～]

会場：富士通マーケティング 北海道支社
会議室4～6

■所在地

札幌市中央区北二条西4-1 札幌三井JPビルディング15F
会議室4～6

■アクセス

1. JR「札幌」駅より徒歩5分
2. 地下鉄南北線「さっぽろ」駅より徒歩2分
3. 地下鉄南北線、東西線「大通」駅より徒歩5分



■お問い合わせ先

株式会社 富士通マーケティング

〒060-0002 札幌市中央区北二条西4-1 札幌三井JPビルディング15F

電話：011-221-1051

担当：根梨、中村、宇治野

■個人情報の取り扱いについて

申込用紙にご記入頂いた情報は、弊社（子会社含む）が行うサービス・新製品・セミナーのご案内等に利用させていただきます。

また、ご案内に際し必要な情報を協力会社に預託することがございます。

回答された内容についてのご照会、修正につきましては左記までご連絡下さい。



11820228(07)